

第15回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時：R2.8.4(火) 16:25～16:45

場所：新館 801 会議室

(進行：厚地危機管理監)

1 開会

2 本部長訓示（蒲島知事）

※別紙「第15回熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長訓示概要」により訓示

3 議事

(1) 感染者の発生状況について（上野健康危機管理課長）

資料1により説明

(2) 各部の取組みについて

- ・リスクレベルの引上げに伴う対策（渡辺健康福祉部長）

資料2、資料3により説明

【発言】

●田嶋副知事

PCR陽性率6.7%に対する客観的な評価と、接待を伴う飲食店の確認店舗数はどのようになっているか。

●上野健康危機管理課長

PCR陽性率の評価について、一般的にクラスターが発生したときには陽性率が非常に上がることが考えられる。本県では大きなクラスターが発生しているものの、その他の検査も十分に実施されていることから、他県に比べて陽性率が高いという状況ではない。前週までは4%程度で推移しており、クラスター発生後は6.7%まで上がったものの、10%までは至っていない状況。

クラスターに関する部分についての陽性率は高いが、その他の検査において低い陽性率が出ている状況と考えている。

●渡辺健康福祉部長

陽性率は10%が目安とされており、それを下回っている状況。また、店の確認については、下通り界限で800店程度回りたいと考えている。

(3) その他

【発言】

●寺野理事

先ほど説明があった「リスクレベルの引上げに伴う対策」について、特定の飲食店でガイドライン等による感染防止対策を徹底するとともに、それが県民に分かるよう、ステッカー等の掲示を改めて要請するとあるが、商工観光労働

部においては、本日の臨時議会で可決された市町村への総合交付金事業の中で、感染防止対策に取り組む飲食店等に対するアドバイザーの派遣や衛生設備導入に対する補助等を組み合わせた支援事業を行うこととしている。

飲食店等に対するパッケージによる支援は、全国初の取組みと思われる。

このパッケージ支援を通じて、感染防止対策の実効性を高めるとともに、地域の経済活動への影響を最小限にとどめることで、感染拡大の防止と経済活動のバランスを果たして参る。